

2022 年度 N 連アンケート(審査プロセス改善要望について)

来年度(2023 年度)の申請や審査において、ご意見やご提案があれば、教えてください。	
審査プロセスの迅速化	
1	昨年度の審査が大変遅れ、すべての団体が混乱し、最終的には室長や班長が遅れや混乱についてお詫びをされ、今年度は審査がスムーズに行われると思っておりましたが、全く改善されないばかりか、昨年よりも審査結果の連絡が遅れている状態は大変遺憾。仮に、スケジュールが遅れる場合は、あらかじめその旨、民連室からあらためて連絡が来るのが筋だが、それもなく、NGO から問い合わせをすれば「審査中です」の一点張り。なぜ昨年度の反省が行かされずに審査が遅れるのか、また審査が遅れるのであればその連絡をなぜしていただけないのか説明をいただきたい。
2	今年の状況を見ると 7 月に申請して 11 月に回答が来ている。派遣する駐在員の雇用の問題もあるため、不受理案件については早めに連絡が欲しい。
3	採択見込みが 7 月末の申請時点である程度わかっていると非常にありがたい。見込みがない場合、それに合わせて事業規模縮小などの対応をすることができるため。
4	審査の状況がわかる情報を適宜に欲しい
5	審査プロセスの迅速化。審査基準の統一。事前審査プロセスの簡素化(4~5 回の往復に多大な時間を要する。1 回目で全ての照会を得ることはできないか、事前審査報告書上のやりとりを 2 回までにするなど)。
6	N 連の予算枠をより大きくし、審査過程を迅速にしてください。
7	1) 審査プロセスの迅速化を切に要望する。年を追うごとに、N 連の審査プロセスは遅くなり、G/C 締結時期が後倒しになっていることは実績(※)から明らかである。R2 年度(2020 年度)に契約された合計 109 案件のうち 82 件(75%)が 2 月と 3 月に契約された。3 月だけで 53 件(49%)と、実に半数が「駆け込み」での契約締結であった。1 年あるにも関わらず、年度末まで審査を続ける現状は健全とは言えない。 2) 具体的には民連室内での案件審査の時間をあと 1 カ月短縮し、遅くとも 10 月上旬には受理・不受理の正式通知が届くようにしていただきたい。
8	1) 以前の順次申請・採択のような流れの方が、各国・各団体・各事業の個別のニーズに応えることができ、より効率的かつ効果的な事業になるのではないかと。 2) 限られた予算に対して申請が増えているのは変わらないため、どのように対応するかあらかじめ決めて、早めに審査状況を共有、審査自体を早く進めるようにしてほしい。 3) 採択結果(正式受理、採択)の通知時期を明確にして欲しい。 4) 2022 年度は、実施要領の公開・説明会が 5 月であり、「5 点セット」提出締め切りが 7 月末であった。もう少し早めに公開・説明会を実施して頂きたい。
9	審査期間について、いつまでが審査期間でいつまでに受理可否連絡があるのか、実施要領またはホームページに明記頂きたい。

	3 ヶ月間を以下に短縮できるか検討が必要。短縮が可能か検討いただくことはできないか。返答が出せないのなら「まだ審議中である」など、連絡がほしい。不採択の案件はその理由を教えてほしい。 案件の申請から審査、契約までのプロセスをスムーズにしていきたい。
10	1) 締切りを早めに設定頂き、余裕をもったスケジュールで進めて頂きたい。7 月末の締切に対して、9 月中ないし 10 月上旬には採択可否の通知を頂きたい。 2) 7 月末の締切を過ぎてから一斉に審査を行うという方法に無理があると考え。ほとんどの案件が 3 月開始になるため、次年度の申請が 8 月末になり、新規案件と継続案件の審査が 8 月～9 月に集中する。一斉審査としたいのであれば、×切を 2 回に分けること(4 月末と 7 月末など)を検討した方が良いと考える。
11	1) 2022 年度でも申請から正式受理可否通知を受け取るまでの期間が長かったため、2023 年度では短縮可能かをご検討いただきたい。 2) 新規案件の採択不採択の連絡をもっと早く(遅くとも 10 月上旬)にいただきたい。
12	遅いことも問題だが、約束が守られない、破られても説明もないことが問題。そして、審査のアカウンタビリティが果たされておらず、ブラックボックス化していることが問題。
コンサルテーション	
1	(もし審査プロセス全体の迅速化に寄与し得るのであれば)コンサルテーションの段階では室長、班長が同席せずとも、民連室の各担当者が民連室全体の方針に基づいた対応ができるようにしていきたい。今年度はコンサルテーションを丁寧にしていただき大変ありがたかった。ほぼ全ての案件に、民連室ご担当者だけでなく、室長や班長が同席されているとのことであった。おかげで貴重な助言をいただけたが、全体的に民連室全体の方針策定や各種業務の遂行に遅れが出てしまっているとすれば問題である。
2	事業の内容・方向性に関わる大きなコメントはなるべく最初のコンサルテーションの段階でご指摘いただけるとありがたい。また、担当者が理解していないことが多く、状況を理解している人がコンサルテーションを行うべき。
3	申請案件を準備するために現地政府とのやり取りを含め、準備のための経費が多額にかかる。確実に N 連実施出来るようにしなければ自己資金での実施が増え、団体の維持に関わる。そのため、コンサルしながら今年度実施案件として進めていくのか、もしくは次年度以降の案件として内容を改善していき採択案件にしていく以前の方法での受付方法に戻して欲しい。
4	受理/不受理の回答が遅くなるようであれば、やはり申請前の相談(コンサル)を実施したうえである程度の可能性を提示していただきたい。
不採択案件について	
1	前年度不採択案件については、次年度 4 月締め切りなどで優先的に審査を進めるような方式を考えていただけないか。